

美土里荘フェスティバル盛況!

はんの木だより

歌・踊り・トークで会場を魅了

美土里会行事

2017年11月
第67号
社会福祉法人美土里会
青森県上北郡七戸町寒水 70-17
電話 0176(62)2761



盛田薫総合施設長のあいさつでスタート



100歳の当法人理事長があいさつ。若い!



来賓の小又勉町長(代理・似鳥和彦副町長)



毎年恒例、ゲスト司会者の瀬川さとしさん



七高OBとボランティアによる名物『トラジョサンバ』



歌や踊りで会場は大盛り上がりでした

十月二十二日、美土里荘フェスティバルが開催されました。当日はあいにくの天気でしたが、徐々にお客様も増え、会場ホールは足の踏み場もないほどの混雑ぶりを見せていました。

盛田薫総合施設長による開会宣言、盛田稔理事長のあいさつに続き、来賓として小又勉町長(似鳥和彦副町長代理出席)からあいさつを頂きました。そして美土里荘フェスティバルと言えはこの人、ゲスト司会者に瀬川さとしさんを迎え、軽快なトークでフェスティバルがスタート。始めに七戸高校出身職員及び七高ボランティアによる、七高名物『トラジョサンバ』が披露。普段から知っている職員が一生懸命踊っている姿を見たご利用者からは拍手と笑顔が見事に会場を温めていました。次いでコロンビアレコード所属の歌手、乙坂みゆきさん

が登場すると会場は割れんばかりの拍手に包まれました。さすがプロの歌手、皆知っている民謡からオリジナル曲を歌い上げるなど、素晴らしい美声を披露し会場を魅了していました。小柴流七恵会による踊りは会場をくぎ付けにし、四歳から小学生の子たちが可愛い踊りを披露すると、皆さんの頬も緩み「かわいいなあ」「これ今日の一番だ!」などの声が多数聞かれました。そして最後には恒例の大抽選会。今年是一等景品が全国温泉旅行。アチケットという事もあり、皆さん真剣に自分の番号とにらめっこ。クジの番号が読み上げられるたびに、悲鳴や歓声、笑い声が会場に響いていました。

美土里会最大のこの行事、今年は風邪の流行もあり一時は開催が危ぶまれましたが、多方面からの協力で開催にこぎつけることが出来ました。改めて御礼申し上げます。お越しいただいた皆様、本当にありがとうございました。

フェスティバル笑顔の写真館

ご来場の皆さま、本当にありがとうございました! 来年もお待ちしています



事業所通信

特別養護老人ホーム美土里荘



九月二十日、敬老会が行われました。開会式では、ご利用者ご家族の皆さまが見守る中、盛田園長から長寿の表彰が行われました。受け取られたご利用者の皆さまは、笑顔で「ありがとう」と話されるなど、少し恥ずかしそうな様子を見せられる方も。



その後のアトラクションでは、道の上こども園の園児による可愛らしい踊りが披露されると、参加された皆さま一様に目を細め、大変喜ばれていました。また職員による出し物では、大黒舞やよさこい、二人羽織、男性職員が女装をしてのダンスが行われ、会場は大きな笑いに包まれました。

会食では、十和田富士屋ホテルのケータリングもあり、ご家族と一緒に食事を楽しまれました。職員にご利用者の普段の様子を尋ねたり、要望等を話されるなど、終始和やかな雰囲気でした。皆さま、おめでとございました！これからも、長生きして下さいね。

普段の介護シーン、どんな危険が？

介護事故を防ぐため職員研修を開催

七月二十八日、介護事故発生再発防止委員会による園内研修を開催しました。『状況図を用いた危険予知訓練』と題し、図を見てどんな危険が潜んでいるかグループごとに検討しました。

どのグループもほぼ同じ意見が出されていきました。危険を発見・予知し、それを回避することで事故を最小限にとどめることが大事です。事故を完全に予防することは難しいですが、リスクマネジメントをしっかり行い、利用者様に安心した生活が送れるよう支援したいと思えます。



参加職員、全員が真剣に話し合いました

デイサービスセンター様



九月三日、七戸秋まつり見学に行きました。ご利用者十八名と職員七名という大人数でしたが、町内の向中野理容店の駐車場をお借りしてゆっくり見学することが出来ました。各町の趣向を凝らした山車が目の前を通るたびに「おらの町内だ！」「子供少なくなつたなあ」「何年ぶりに見たべー」など歓声や感想が聞かれました。祭りに参加している職員を見ると、身を乗り出したり拍手をしたりと大喜び。皆さん「疲れたけど、見られて良かった」「面白かった」など笑顔で嬉しそうな様子でした。

グループホーム様



八月に桃狩りを予定していましたが、天候不順で予定日に桃がないというアクシデントがあり、日程を変更した九月十九日・十月六日の二回に分かれて、中善農園にぶどう狩りに出掛けてきました。九月から男性職員が一人増えたこともあり、今回はなかなか外出が厳しい車椅子のご利用者も参加する事が出来ました。普段の食事がなかなか進まないけれど果物が大好きなご利用者は、大きいぶどうを二房もペロリ。一緒に参加した他のご利用者も職員もビックリしてしまいました。また、写真を撮られるのが嫌なご利用者は、柱の陰から一緒に写真に写り「なつてるの取って食べたの、初めてだ。美味しかった」と笑顔を見せて下さいました。グループホームは認知症の方が入居しています。毎年恒例の果物狩りですが、忘れてしまうご利用者も勿論いらっしゃいます。ですが、その時の「嬉しい」「楽しい」を今後も一緒に見つけ、共有していければと思います。

特別養護老人ホーム美土里荘 介護副主任



美土里会に勤務して早くも十年目に入社してあつという間でした。時が経つのは本当に早いと日々感じてい

ます。これと言って面白いネタもありません。趣味は写真を撮る事。特に自然が大好きです。あ、それとビールも大好きです(笑)。歳も歳なので健康管理には気を付けていきたいと思えます。ご利用者の笑顔を見ると元気を貰えます。ご利用者、ご家族の皆さまが安心して生活できるよう、今後も自己啓発に努めていきたいと思えます。

レクリエーションやっています！

まずは週一回、体操・音読・レクを実施



八月から、特養でレクリエーションの時間を設けて実施しています。ご利用者からの「身体を動かす機会が欲しい」という要望を受けてのもので、職員で検討しまずは週一回本館ホールで実施することにしました。午後二時より、身体を動かす体操と音読を行った後、日替わりのレクリエーションを行います。お金釣りゲームやお手玉ダーツなど行い、「頑張れ」「やった」と大盛り上がりで行っています。皆さん非常に喜ばれ、多い日では二十五名も参加されることも。これからもご利用者の機能訓練、そして楽しみの確保のため、続けて行きたいと思えます。

編集後記

美土里会の大きなイベント「美土里荘フェスティバル」も無事に終わり、あとは寒い冬を待つばかりとなりました。個人的には寒いのは嫌いなので、冬はなくても良いと思つていますが、大嫌いな虫がいなのは唯一良いところかなと思つております。虫と言えば、今年はカメムシが多かったので雪が多いかもしれませんね。(涙)

かなえ 佳奈絵